

子育てのための施設等利用給付認定申請書

(宛先) 入間市長

裏面同意事項に同意の上、次のとおり必要書類を添えて、子どものための施設等利用給付認定(変更)の申請をいたします。

※ご記入の際は、必ず黒または青の消えないボールペンをお願いします。※年月日は和暦で記入してください。

【無償化給付認定(新1・2・3号認定)用】

申請 (保護者)について	住所	入間市		申込日	年 月 日	申込日以前に認定することはできません。
	フリガナ		申請子どもとの続柄	電 話	☐ 自宅 ☐ 携帯(父) ☐ 携帯(母) ☐ ()	
	氏名 (生年月日)	(年 月 日)	父・母	※優先的に連絡する先にし点をつけてください。緊急時等にも使用しますので、複数記入ください。		
	個人番号 (マイナンバー)		生活保護の受給	☐ なし ☐ あり(開始日 年 月 日)		
			ひとり親世帯について	☐ 非該当 ☐ 該当(裏面の事由も回答してください)		

※上記の者を認定結果を通知する保護者及び無償化の給付を請求(受給)できる保護者とします。

子どもについて	フリガナ		申請保護者との続柄	当年4月1日 時点年齢	認定開始希望日(申込日以前の希望はできません)
	氏名 (生年月日)	(年 月 日)			年 月 日 個人番号 (マイナンバー)

認定区分 (保育の必要性の有無)	☐ 新1号認定(保育希望なし)	主に幼稚園等の教育部分(通常の預かり部分)のみを利用し、預かり保育や無償化の他の施設・サービスの無償化を希望しない場合は、新1号で申請してください。
	☐ 新2号・新3号認定(保育希望あり) ※新2号・新3号認定を希望する場合は、下記の保育を必要とする事由もご記入ください。 ※裏面を参照に必要な書類を添付してください。	父母の就労又は疾病等の理由により保育の必要性を満たし、幼稚園・認定こども園・特別支援学校における預かり保育事業、認可外保育施設、一時預かり事業、病児保育事業、子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター)の無償化を希望する場合は、新2・3号認定で申請してください。 ※申請子どもが、当年4月1日時点で3歳児未満の場合は、保護者が保育の必要性を満たしたうえ、市町村民税非課税世帯のみ対象となりますので、下の課税状況にもチェックしてください。
保育を必要とする事由 (新2号・新3号認定希望の 方のみ記入してください)	☐ 父 ☐ 母 ☐ その他()	1就労 2妊娠・出産 3障害・疾病 4介護・看護 5災害復旧 6求職活動 7就学 8その他()
	☐ 父 ☐ 母 ☐ その他()	1就労 2妊娠・出産 3障害・疾病 4介護・看護 5災害復旧 6求職活動 7就学 8その他()
課税状況	☐ 非課税世帯に該当	新3号認定(保育希望ありの0歳児～2歳児クラス(年度途中で満3歳児になった子を含む))を希望している場合で、市民税非課税世帯に該当する場合は、左の□にし点をつけて下さい。(裏面も参照ください。)

利用施設について	①幼稚園・認定こども園・特別支援学校幼稚部を利用する(予定含む)方は記入して下さい。			
	フリガナ 施設名	所在地	利用開始日	年 月 日
	②認可外保育施設、一時預かり事業、病児保育事業、子育て援助活動支援事業(ファミサポ等)を利用する(予定含む)方は記入して下さい。			
	フリガナ 施設名	利用するサービスの種類	所在地	利用開始日
		認可外・一時預かり 病児保育・子育て援助活動		年 月 日
		認可外・一時預かり 病児保育・子育て援助活動		年 月 日

申請 (保護者及び申請子どもを 除く同居者)	氏名	申請子どもとの続柄	生年月日	当年4月1日 時点年齢	勤務先/学校名/施設名/その他状況	個人番号(マイナンバー)
			年 月 日			
			年 月 日			
			年 月 日			
			年 月 日			
			年 月 日			
			年 月 日			
			年 月 日			

【マイナンバーについて】

- 父、母及び申請子どもについて記載してください。記載した方の、マイナンバー確認書類と本人確認書類のコピーを添付してください。添付書類につきましては、手引きをご確認ください。
- 既に、施設等利用給付認定の手続きで、マイナンバーを提出いただいている場合、またマイナンバーに変更がない場合は記載の必要ありません。

【申請にあたって同意していただく事項】申請をもちまして、下記事項に同意したものとします。

- 1 認定の審査及び申請者や生計を一にする者の市町村民税課税状況等の確認に当たって、提出された資料の提供元や官公署に対し必要な文書の閲覧又は資料の提供を求めることがあること。
- 2 申請書等に記載した内容、認定や支給等、及びその他施設における費用の徴収に関する情報として必要と認められる場合に、施設・事業者提供すること。
- 3 施設等利用費は、保護者に代わり、利用する施設・事業者が受領する場合があること。
- 4 認定事務が集中するなど、審査等に日時を要する場合は、申請後30日以内に審査結果の通知が出来ない場合があること。
- 5 申請内容に変更があった場合は、速やかに内容の変更を市に届け出ること。届け出がない場合は、施設等利用給付認定を取り消すことがあること。
- 6 申請内容が事実と相違した場合は、施設等利用給付認定を取り消すことがあること。
- 7 認定希望日現在で、企業主導型保育事業を利用している場合は、本認定の申請はできません。

保護者について		父		母	
住所	前年1月1日現在	□入間市内 □入間市外(市区町村)		□入間市内 □入間市外(市区町村)	
	当年1月1日現在	□入間市内 □入間市外(市区町村)		□入間市内 □入間市外(市区町村)	
	<以下に該当する場合、記載の証明書の提出を求める場合があります。(※必要な場合は通知等でご連絡します)> ●幼稚園(新制度未移行園に限る)に通園する(している)子どもで、当年1月1日現在に入間市外にお住まいの場合。 ⇒当年度の市区町村民税課税(非課税)証明書 ●申請子どもが当年4月1日時点で3歳未満の子どもで、前年1月1日現在に入間市外を記入した場合。 ⇒前年度市区町村民税課税(非課税)証明書 ●申請子どもが当年4月1日時点で3歳未満の子どもで、当年1月1日現在に入間市外を記入した場合 ⇒当年度市区町村民税課税(非課税)証明書				
不在の場合 (単身赴任等で別居の場合含む)	理由： □死亡 □離婚 □未婚 □別居 □その他()				
	発生日月： 年 月 日		[児童扶養手当の受給] あり・申請中・なし		
	別居の場合：氏名 (年 月 日生) 住所 別居理由： 単身赴任・離婚前提 [法的手続き： なし・あり()]※確認できる書類を添付してください				

○ 新2号・新3号認定を希望している方のうち、認可保育施設の申込みを行わなかった方は下記もご記入ください。

保育所等の利用申し込み等を行わなかった理由(いずれかに✓をしてください)

- ☐ 既に利用している認可外保育施設を継続して利用するため
☐ 保育所等の利用時間帯が希望と合わないため
☐ 保育所等が自宅や職場から遠いなど希望と合わないため
☐ その他 ()

【保育を必要とする事由の認定種類、認定条件及び必要書類について】※保育希望ありの方のみ、該当する必要書類を必ず添付して下さい。

認定事由	認定条件等	認定期間	必要書類	
就労	月64時間以上の労働を常態としていること	就学前まで	勤会 務社	就労証明書(市指定様式)
			(中 自 心 営 業 者 業)	就労証明書(市指定様式)
				勤務実績申告書(市指定様式)
				確定申告書の写し等(営業していることがわかるもの)
			(協 自 力 営 業 者 業)	就労証明書(市指定様式)
妊娠・出産	出産(予定)月の前後2か月の期間であること (多胎妊娠の場合は期間が異なります)	出産予定日の属する月の 翌月の前後2ヶ月	内 職	勤務実績申告書(市指定様式)
				母子健康手帳の母の氏名及び分娩予定日の記載ページの写し
疾病・障害	保護者が疾病等により家庭での保育が困難であること	治癒見込期間		診断書(市指定様式)
介護・看護	同居の親族等を常時介護または看護していること(週16時間以上かつ月64時間以上)	治癒見込期間		診断書(市指定様式)、看護・介護スケジュール(予定)申告書、被介護者の障害者手帳または介護保険被保険者証
就学	月64時間以上の就学を常態としていること	在学(予定)期間		在学証明書(入学前は合格通知)、時間割等スケジュールがわかるもの
災害復旧	地震・風水害・火災等の災害の復旧にあたること	保育を必要とする期間		罹災証明書
求職活動	求職活動を行っていること	申請の翌月から 3か月間(更新不可)		求職活動に関する申立書(市指定様式)
虐待・DV	虐待やDV等を受けている(おそれがある)こと	保育を必要とする 期間		児童相談所等による保護の状況がわかるもの
育児休業	既に就労等の認定で同一の施設を利用して いる子どもで、保護者が新たに育児休業を取 得した後も継続して保育施設等を利用するこ とが必要と認められる場合	育児休業の対象とな る子どもが1歳とな る月末まで		育児休業等取得証明書(市指定様式)
その他	上記に類する状態で市長が認めるもの			